

# 歯科診療における情報提供について

(社)日本歯科医師会  
(平成19年5月)

# 全会員緊急アンケート調査結果からみた 文書提供に係わる実態

## 1) 調査対象・対象数

日本歯科医師会の全会員(65,241人)

## 2) 回収数・回収率

回収数:23,648 回収率:36.2%

## 3) 調査期間

平成18年7月14日～平成18年9月29日

## 4) 調査項目

診療所の属性・改定についての総合評価・

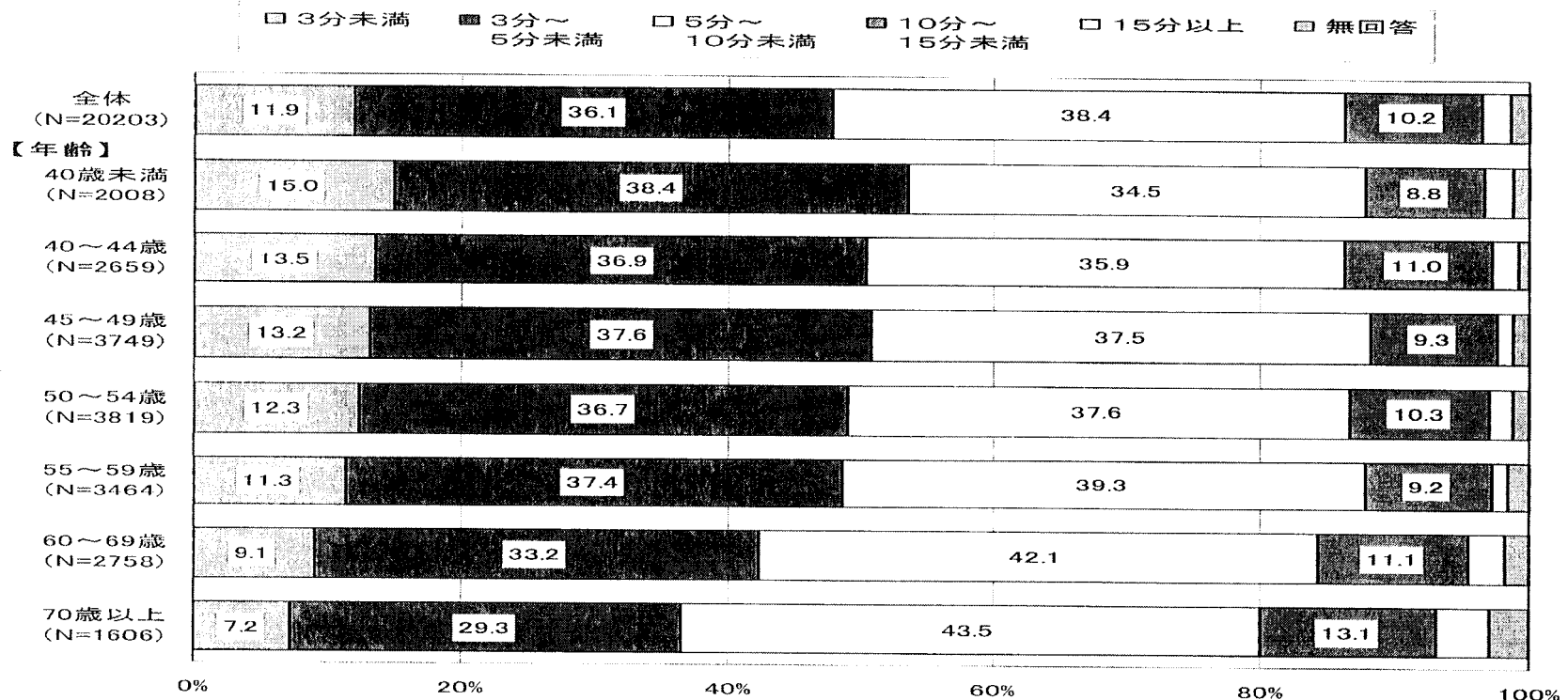
文書提供に係る事項・領収証の発行状況等

# 結果の概要

## 1) 文書1件当たりの平均記載時間

- 文書1件当たりの平均記載時間を全体で見ると、「5分～10分未満」が38.4%と最も多く、「3分～5分未満」が36.1%となっており、全体の1件当たりの平均記載時間は6分である。

図26 文書1件あたりの平均記載時間(年齢別)

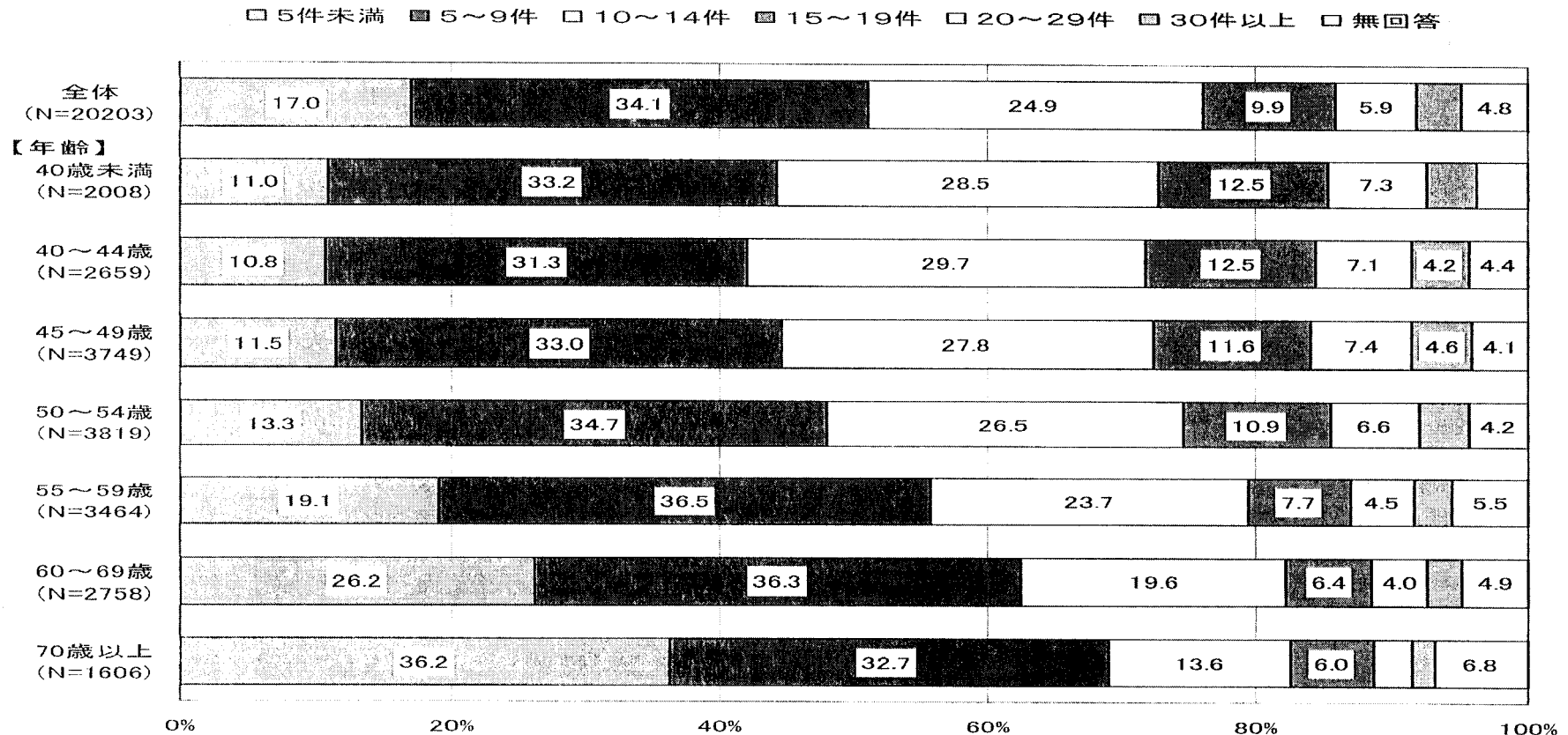


## 2) 1日当たりの文書交付平均件数

- 1日あたりの文書交付平均件数を全体で見ると、「5～9件」が34.1%、「10～14件」が24.9%となっており、全体の文書交付平均件数は11件である。

3) 文書記載に要する1日あたりの平均時間は、約66分(6分×11件)

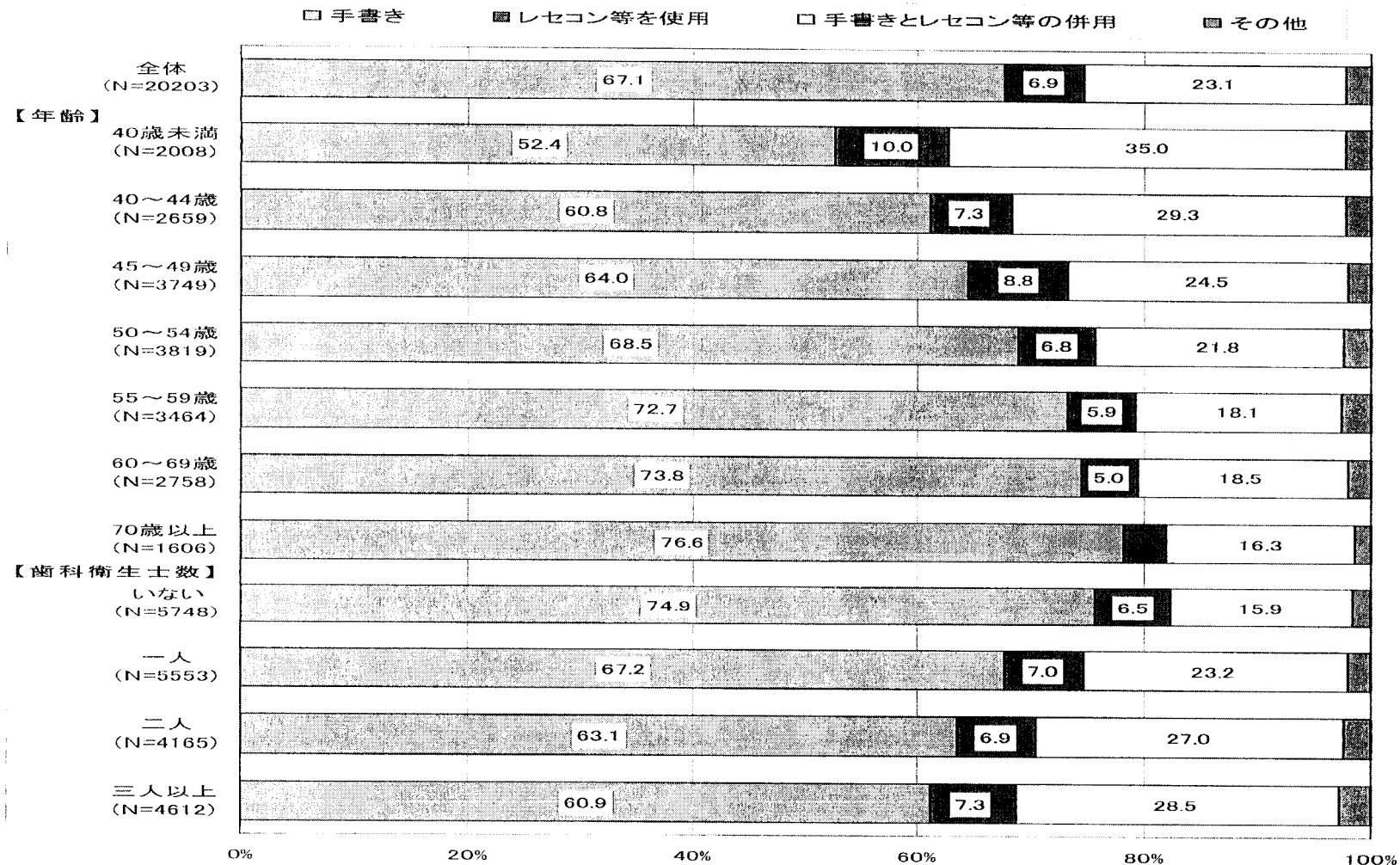
図28 1日あたりの文書交付平均件数(年齢別)



#### 4) 提供文書の作成方法

- 全体では、「手書き」が67.1%と多く、次いで「手書きとレセコン等の併用」が23.1%、「レセコン等を使用」6.9%となっており、「手書き」が主流である。

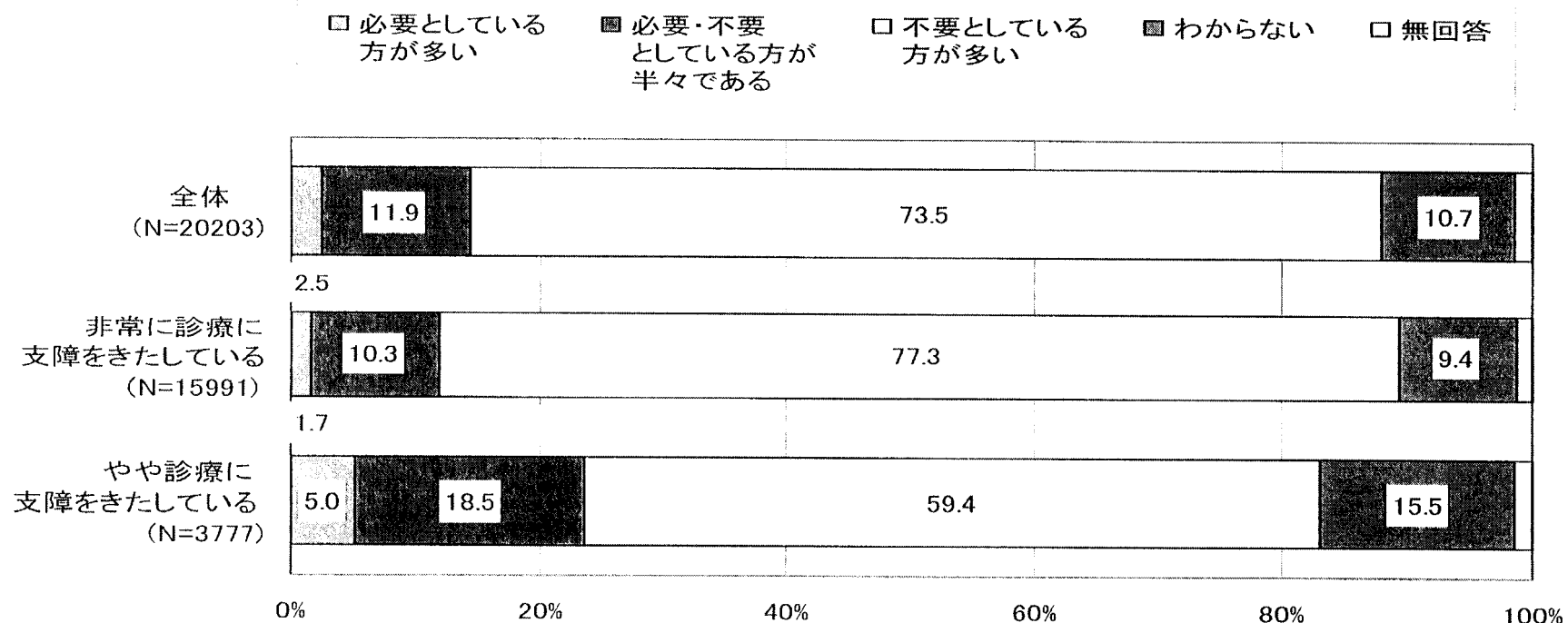
図31 提供文書の作成方法(年齢・歯科衛生士数別)



## 5) 文書提供の必要性に対する患者の反応

- 文書提供の必要性に対する患者の反応を全体で見ると、「必要としている方が多い」では2.5%と非常に低く、逆に「不要としている方が多い」では73.5%と非常に高い割合となっている。歯科医師から見た患者の反応では、文書提供は不要とする意見が圧倒的に多い。

図34 文書提供の必要性に対する患者の反応  
(今改定に対する総合的な評価別)



※「必要としている方が多い」の割合は、「多くの方が必要としている」+「どちらかという必要としている方が多い」  
「不要としている方が多い」の割合は、「どちらかという不要としている方が多い」+「多くの方が不要としている」  
を合算したものを。

**(参考) 文書提供が算定要件となっている主な項目**

**【医学管理】**

歯科疾患総合指導料  
歯科口腔衛生指導料  
歯科衛生実地指導料  
歯周疾患指導管理料  
歯科疾患継続指導料  
歯科特定疾患療養管理料  
歯科治療総合医療管理料  
新製義歯指導料  
老人訪問口腔指導管理料

**【在宅医療】**

歯科訪問診療料  
訪問歯科衛生指導料

**【検査】**

歯科疾患継続管理診断料

**【歯冠修復及び欠損補綴】**

補綴時診断料

**【歯科矯正】**

歯科矯正管理料  
矯正装置装着時の  
フォースシステム加算